

小栗孝則 たけのり ドイツ文學翻譯家。明治二十五年二月二十一日東京
 芝生れ、昭和五十一年五月十七日歿（九〇一七）。大正十二年東京外
 國語學校卒。戰時中應召、昭和十九年日獨文化協會の勤務。この間、
 コゲーテ以後Ⅰ（第一輯獨乙ロマンティック抒情詩選）Ⅱ（昭和四年
 十一月一日太虚洞詩書房、河發行所發賣「河叢書」）、コシラー詩集Ⅱ
 （昭和五年六月十五日改造社「改造文庫」）、『新編シラー詩抄』（昭
 和十一年七月二十日改造社「改造文庫」）、シユウアイツアー著『グ
 ーテ（附・ゲーテの言葉）Ⅱ』（昭和十七年四月十五日長崎書店）等譯
 刊。終戰後、前記協會の後身日歐聲藝研究所主事、また解放社版『ハ
 イネ選集』の企劃編輯に携はり、自らその『抒情詩集』（昭和二十
 二年九月二十五日刊）を譯した（『新選集』昭和二十二年七月十五
 日刊は井汲越次譯）。二十九年平凡社入社、三十七年定年退職後も囑
 託。
 他に、シラー著『人間的美的教育』のついでに（昭和二十二年五月二十
 日小石川書房）、シユウアイツエル著『永遠のゲーテ』（昭和二十八年
 三月十日文芸書房）等。歿後、ハイネ作『死せるマリア』（舊譯新
 版・昭和五十一年十月十五日小栗千枝刊）出版。

